



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社アルファ

上場取引所 東

コード番号 3434 URL <http://www.kk-alpha.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木之瀬 茂

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員

(氏名) 斉藤 雄一

TEL 045-787-8401

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	37,995	7.5	667	△56.7	1,670	△10.4	830	△35.3
25年3月期第3四半期	35,343	1.7	1,540	23.2	1,864	118.4	1,283	101.1

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 3,090百万円 (116.1%) 25年3月期第3四半期 1,430百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	86.92	—
25年3月期第3四半期	134.31	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	48,642	24,335	48.6	2,472.88
25年3月期	43,279	21,680	48.6	2,201.94

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 23,622百万円 25年3月期 21,034百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
26年3月期	—	15.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	7.0	1,800	5.3	1,800	△35.1	900	△47.7	94.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	10,200,000 株	25年3月期	10,200,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	647,398 株	25年3月期	647,348 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	9,552,602 株	25年3月期3Q	9,552,652 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信に關しましては、四半期レビュー手続きの対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きが実施済みです。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結会計期間の世界経済においては、欧州景気低迷や新興国の景気減速懸念など不安要素は依然として存在するものの、米国では量的金融緩和策縮小への動きが見られ、経済の堅調さをみせております。また、日本経済においては、円安基調が定着しつつある状況の中、景気の回復傾向など明るさも垣間見えた経営環境でありました。

当社グループの属する自動車業界については、主要得意先における自動車生産台数は、海外では、北米や中国での需要拡大等により、生産台数は前年同期に比べ増加いたしました。国内では海外生産シフトの影響等により、生産台数は前年同期に比べ減少いたしました。

セキュリティ機器業界では、消費税引き上げを前にした駆け込みなどから、新設住宅着工件数は前年同四半期に比べ増加しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、379億95百万円と前年同四半期に比べ、26億52百万円（前年同四半期比7.5%増）の増収となりました。利益面については、新製品の立上げ並びに新工場の立上げ費用の増加等により、営業利益は6億67百万円となり、前年同四半期に比べ8億72百万円（同56.7%減）の減益となりました。経常利益は、為替差益9億29百万円の影響を受け16億70百万円となりましたが、前年同四半期に比べ1億94百万円（同10.4%減）の減益となりました。四半期純利益は8億30百万円と前年同四半期に比べ、4億52百万円（同35.3%減）の減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 自動車部品事業（日本）

自動車部品事業（日本）におきましては、主要得意先での輸出車両の海外現地生産化シフトが進んだことにより、売上高は115億17百万円と前年同四半期に比べ、45億6百万円（前年同四半期比28.1%減）の減収、営業損失は6億51百万円（前年同四半期は営業利益4億75百万円）となりました。

#### ② 自動車部品事業（北米）

自動車部品事業（北米）におきましては、主要得意先の需要増加や、為替による影響があり、売上高は90億92百万円と前年同四半期に比べ、24億15百万円（同36.2%増）の増収となりましたが、新製品の立上げ並びに新工場立上げ費用の増加等により、営業損失は4億76百万円（前年同四半期は営業損失4億83百万円）となりました。

#### ③ 自動車部品事業（アジア）

自動車部品事業（アジア）におきましては、主要得意先の東南アジアでの自動車生産台数が増加した影響や、為替による影響があり、売上高は167億51百万円と前年同四半期に比べ、34億30百万円（同25.8%増）の増収となりました。営業利益は13億89百万円と前年同四半期に比べ、75百万円（同5.7%増）の増益となりました。

#### ④ セキュリティ機器事業（日本）

セキュリティ機器事業（日本）におきましては、住宅向け電気錠の販売拡大や、レジャー施設の利用者が堅調に推移したことによるロッカー利用料収入の増加により、売上高は49億57百万円と前年同四半期に比べ4億3百万円（同8.9%増）の増収となりましたが、円安による海外生産品の輸入コストへの影響により、営業利益は、2億17百万円と前年同四半期に比べ98百万円（同31.2%減）の減益となりました。

#### ⑤ セキュリティ機器事業（海外）

セキュリティ機器事業（海外）の売上高は、1億19百万円と前年同四半期に比べ、1百万円（同0.9%減）の減収、営業利益は、25百万円と前年同四半期に比べ9百万円（同27.6%減）の減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は246億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億55百万円増加いたしました。これは現金及び預金が7億46百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が8億73百万円、商品及び製品が2億79百万円、仕掛品が1億54百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は239億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ、41億94百万円増加いたしました。これは、有形固定資産が14億19百万円増加したことや投資その他の資産が24億77百万円増加したこと等によるものです。

この結果、総資産は、486億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ53億62百万円増加いたしました。

## (負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は130億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億61百万円増加いたしました。これは支払手形及び買掛金が12億18百万円増加し、その他流動負債が7億11百万円減少したことによります。

固定負債は112億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ、22億46百万円増加いたしました。これは長期借入金が19億52百万円、社債が6億円増加し、退職給付引金が4億15百万円減少したこと等によるものです。

この結果、総負債は、243億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億8百万円増加いたしました。また、有利子負債は、131億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ、25億20百万円増加いたしました。

## (純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は243億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ、26億55百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が5億43百万円、為替換算調整勘定が14億17百万円増加したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の48.6%と増減しませんでした。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動により8億13百万円の増加、投資活動により35億48百万円の減少、財務活動により18億61百万円の増加となりました。また「営業活動によるキャッシュ・フロー」と「投資活動によるキャッシュ・フロー」との差額であるフリー・キャッシュ・フローは27億35百万円の支出（前年同四半期は18億90百万円の支出）となりました。

以上の結果、換算差額を含めた当第3四半期連結会計期間末における資金の残高は、前第3四半期連結会計期間末に比べ5億90百万円減少の53億43百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

売上債権の増減額が4億24百万円減少しましたが、たな卸資産の増減額が18億71百万円、仕入債務の増減額が4億2百万円増加したこと等がありました。よって、前第3四半期連結累計期間に比べ、2億67百万円の収入が増加し、当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは8億13百万円の収入となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出が4億89百万円減少しましたが、関係会社株式の取得による支出が14億76百万円増加したこと等がありました。よって、当第3四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期連結累計期間に比べ、11億12百万円支出が増加し、35億48百万円の支出となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入金の返済による支出が6億32百万円増加しましたが、長期借入による収入が18億1百万円増加したこと等がありました。よって、当第3四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期連結累計期間に比べ、14億95百万円収入が増加し、18億61百万円の収入となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきまして、平成25年5月15日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,103	5,356
受取手形及び売掛金	8,873	9,747
商品及び製品	1,286	1,566
仕掛品	815	970
原材料及び貯蔵品	5,001	4,982
その他	1,415	2,025
貸倒引当金	△19	△16
流動資産合計	23,476	24,632
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,279	5,422
機械装置及び運搬具(純額)	2,743	4,474
土地	1,719	1,557
その他(純額)	5,006	3,712
有形固定資産合計	13,748	15,167
無形固定資産	591	888
投資その他の資産	※2 5,463	※2 7,940
固定資産合計	19,803	23,997
繰延資産	—	13
資産合計	43,279	48,642
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,792	7,010
短期借入金	3,356	3,522
未払法人税等	202	235
賞与引当金	409	193
製品保証引当金	186	159
事業構造改善引当金	139	139
その他	2,511	1,799
流動負債合計	12,597	13,059
固定負債		
社債	—	600
長期借入金	5,842	7,794
退職給付引当金	428	13
資産除去債務	67	67
その他	2,662	2,772
固定負債合計	9,001	11,247
負債合計	21,599	24,307

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,760	2,760
資本剰余金	2,952	2,952
利益剰余金	14,619	15,162
自己株式	△578	△578
株主資本合計	19,753	20,296
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,897	2,524
為替換算調整勘定	△616	801
その他の包括利益累計額合計	1,281	3,325
少数株主持分	646	712
純資産合計	21,680	24,335
負債純資産合計	43,279	48,642



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	35,343	37,995
売上原価	29,998	33,028
売上総利益	5,344	4,967
販売費及び一般管理費	3,803	4,299
営業利益	1,540	667
営業外収益		
受取利息	24	29
受取配当金	42	62
為替差益	320	929
不動産賃貸料	19	—
その他	83	151
営業外収益合計	490	1,173
営業外費用		
支払利息	103	116
その他	63	53
営業外費用合計	166	170
経常利益	1,864	1,670
特別利益		
固定資産売却益	46	92
投資有価証券売却益	—	68
その他	0	3
特別利益合計	47	165
特別損失		
固定資産除売却損	23	190
製品保証引当金繰入額	79	—
その他	25	68
特別損失合計	128	258
税金等調整前四半期純利益	1,784	1,577
法人税、住民税及び事業税	548	580
法人税等調整額	△48	46
法人税等合計	499	627
少数株主損益調整前四半期純利益	1,284	949
少数株主利益	1	119
四半期純利益	1,283	830

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,284	949
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	265	626
為替換算調整勘定	△119	1,514
その他の包括利益合計	146	2,140
四半期包括利益	1,430	3,090
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,423	2,874
少数株主に係る四半期包括利益	7	215

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,784	1,577
減価償却費	1,117	1,435
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	△5
受取利息及び受取配当金	△67	△91
支払利息	103	116
固定資産売却損益(△は益)	△46	△61
固定資産除却損	23	159
賞与引当金の増減額(△は減少)	△198	△219
製品保証引当金の増減額(△は減少)	19	△27
売上債権の増減額(△は増加)	812	388
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,547	323
仕入債務の増減額(△は減少)	△887	△485
長期未払金の増減額(△は減少)	△35	△74
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△184	△362
その他	151	△1,214
小計	1,040	1,458
利息及び配当金の受取額	66	89
利息の支払額	△73	△113
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△487	△620
営業活動によるキャッシュ・フロー	545	813
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	276	47
定期預金の預入による支出	△200	—
有形固定資産の取得による支出	△2,572	△2,083
有形固定資産の売却による収入	381	363
無形固定資産の取得による支出	△32	△65
投資有価証券の取得による支出	△18	△12
投資有価証券の売却による収入	1	90
関係会社株式の取得による支出	△269	△1,745
その他	—	△144
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,435	△3,548
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	405	150
短期借入金の返済による支出	△150	△150
長期借入れによる収入	2,505	4,306
長期借入金の返済による支出	△1,663	△2,295
社債の発行による収入	—	586
配当金の支払額	△305	△286
少数株主への配当金の支払額	△69	△95
その他	△355	△353
財務活動によるキャッシュ・フロー	365	1,861
現金及び現金同等物に係る換算差額	△229	166
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,753	△706
現金及び現金同等物の期首残高	7,686	6,049

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 5,933	※ 5,343

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I. 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	セキュリテ ィ機器事業 (日本)	セキュリテ ィ機器事業 (海外)	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	12,382	6,637	11,741	4,528	53	35,343	—	35,343
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,640	39	1,580	25	67	5,352	△5,352	—
計	16,023	6,677	13,321	4,553	120	40,696	△5,352	35,343
セグメント利益 又は損失(△)	475	△483	1,313	316	34	1,657	△116	1,540

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△116百万円は、セグメント間取引消去△116百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II. 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	セキュリテ ィ機器事業 (日本)	セキュリテ ィ機器事業 (海外)	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	9,220	9,052	14,704	4,934	84	37,995	—	37,995
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,296	40	2,047	22	34	4,442	△4,442	—
計	11,517	9,092	16,751	4,957	119	42,438	△4,442	37,995
セグメント利益 又は損失(△)	△651	△476	1,389	217	25	503	164	667

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額164百万円は、セグメント間取引消去164百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。